

## 建築功労賞推薦基準（令和3年度）

## 1 建築功労賞の表彰候補者の推薦募集について

今年度は下記の職種について推薦依頼を行いません。推薦方法は職能団体による職種に加えて、職能団体がない、あるいはあっても推薦が殆どない職種については、富山県建築文化賞協議会構成団体及び構成団体会員からの推薦を募集します。

## ① 職能団体推薦による職種

職能団体がある職種に関しては、当該職能団体に募集案内を送付しますので該当の表彰候補者の方がおられたら応募願います。

## ② 富山県建築文化賞協議会構成団体及び構成団体会員推薦による職種

以下の職種については、富山県建築文化賞協議会構成団体及びその会員からも推薦できることとしましたので、該当の表彰候補者の方がおられたら応募願います。

職種	瓦葺工、板金工、左官工、建具製作工、サッシ工、畳製作工、石工、タイル工、塗装工、内装工、表装、型枠大工、鉄筋工、鉄骨工、ブロック建築工、配管工、ダクト工、電工、築炉工、曳家工
----	---

## 2 被推薦者は次の事項の全てに該当する方といたします。

## (1) 永年の職能にかかる実績があること

一級技能士、第1種電気工事士等で20年以上の職歴が目安です。

建築賞受賞作品や著名な建築物の施工歴がある場合はこれを評価します。

（建築賞として富山県建築賞、中部建築賞、建築学会の北陸建築文化賞や作品選集掲載等）

特別の工法、施工方法等についての実績も評価しますが、通常の工法・施工方法でも高品質の工事を安定して実施していることを評価いただいて結構です。

なお、この賞では団体の役員歴を考慮する必要はありません。

## (2) 後進の指導育成に功績のあること

内弟子の指導育成に限らず、職業訓練センターの指導員等の教育実績も評価してください。

## (3) 国・県の実施する他の表彰をすでに受けていないこと

叙勲・褒章、大臣表彰、県功労賞、県部門功労の受賞者は除外します。

その他の団体主催の表彰制度やとやまの名匠、技能競技の入賞歴などはあってもよいものとします。